



落羽松

観音寺市立観音寺東小学校
平成25年度学校だより 第4号
2013年 7月18日

東小を心にきざみ 明日に夢を！ — ありがとう 観音寺東小学校 —

時が経つのは早いもので、明日は1学期の終業式です。この1学期間、子どもたちは様々な体験や学習を通して、心も体も大きく成長してきました。特に、6月からは水泳も始まり、自己記録に挑戦するたくましい姿が数多く見られるようになりました。また、百人一首の暗誦に向けた取り組みでは、「やればできる！」という達成感と大きな感動をほとんどの子どもたちが味わうことができました。

間もなく始まる夏休み、この貴重な時間を生かし、すべての子どもたちが課題に挑戦し、やり遂げた喜びやできた喜び等、努力したからこそ得られる本物の感動を味わってくれることを期待しています。また、夏休みは学びの場が家庭に移り、チャイムのない生活が始まります。元神戸大学の森先生は、「しつけ」を家庭教育の目標として掲げることを勧められています。そして、『人間』として軌道に乗せるには、たくさんのおことはいらぬ。次の三つを徹底させれば、親の責任はすむ」と語っています。

<「しつけ」の三原則>

- 1 朝、必ず親にあいさつをする子にすること
- 2 親に呼ばれたら、必ず「ハイ」とはっきり返事のできる子にすること
- 3 履物を脱いだら必ずそろえ、席を立ったら必ず椅子を入れる子にすること

以上、三つのしつけが徹底すれば、それだけで「人間」としての軌道に乗るのだそうです。特に、あいさつと返事、この二つが徹底すれば、子どもはいつの間にもやら素直になり、親の言うことをよく聞くようになるのだとも言われます。なぜかといえば、コップが上向きになったように、心の受け入れ態勢が整うからだそうです。そして、しつけのコツについて下記のように語っています。

- 保護者自身が家庭でもあいさつをしっかりし、また呼ばれたら返事をするように努力すること
 - 子どもがそれをまねてやりだせば、必ず褒めること
- 3番目の履物のしつけについては
- このしつけは、我が子を人としてしまりのある人間に育てる極秘伝であるとともに、金銭に対しても、しまりのある人間になる

第5回「東小を語る会」を開催しました



7月3日(水)、本校の卒業生である小西 寛先生(現観音寺市教育委員会主任指導主事)をお招きし、「東小を語る会」を開催しました。先生は、まず本校児童のよさをたくさん話してくださいました。続いて、昔と変わらないことと変わったことについて話されました。特に、今はない木造校舎の怖かった思い出や、水泳練習中の大西病院に入院されていた

方々の応援にはずいぶん励まされたことなどを懐かしそうに語ってくださいました。

第29回全国小学生陸上競技交流香川県最終予選会

6月29日(土)、県立丸亀競技場において、全国大会出場をかけた県の最終予選会が開かれました。本校から100mに出場した6年生の安藤 大翔君は、13秒22という好記録で見事3位に入賞しました。全国大会には出場できませんでしたが、自己記録を更新し、練習の成果を大いに発揮しました。



5年生が「洋上学習」に参加



＜民俗資料館で説明を聞く＞



＜芸術祭出品作品の見学：レインボーハット・沈まぬ船＞



7月1日（月）、本校5年生児童が、観音寺市内の小学校5年生を対象にした伊吹島での洋上学習に参加しました。今年は、島で間もなく開催される「第2回瀬戸内芸術祭2013」を前に、制作中の作品をいくつか鑑賞することもできました。また、島という厳しい自然環境の中で、自然に寄り添いながら様々な工夫と努力を重ねてこられた先人の知恵の跡や、漁業の島としての産業や文化に直接ふれることができるという貴重な体験もできました。

色別百人一首緑札大会の開催

百人一首の音読・暗誦練習の一環として、色別での連帯感を高めるとともに、全校生の百人一首に対する学習意欲を高める機会とする。

このねらいのもと、7月4日（木）朝の「声玉タイム」の時間に、初めてのカルタとり大会を全校児童が参加して行いました。

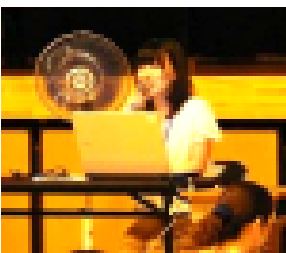
試合方法は、同学年同士1対1の対戦による色別対抗戦としました。緑札20枚中17枚を、担当教師が読んだ上の句に続き、下の句が書かれた札を取り合うゲームです。

体育館という広い場所で、全校一斉に開催した大会でした。短時間で能率よく、また何よりも楽しく取り合うことができました。2学期には、他の色札でも開催する予定です。



＜色別対抗カルタとり大会＞

第1回学校保健委員会の開催



7月5日（金）、自治会別懇談会の前に、「学校保健委員会」を開催しました。今回は、本校に毎月来ていただいているスクールカウンセラーの田中彩先生をお招きし、「子どもの心と向き合うために」という演題でご講話をいただきました。先生は、エンカウンター技法を通して、子どもの

心と向き合うことの大切さや向き合い方などについて、これまで体験されたいくつかの事例を紹介しながら、笑顔を絶やさず語ってくださいました。

今回の講話を通して、スクールカウンセラーの仕事やカウンセリングの目的、また田中先生のお人柄にも触れることができ、先生やカウンセリングを身近に感じられた方が多かったのではないのでしょうか。次回からの教育相談日には、ご遠慮なさらずお気軽に相談の希望を出していただければ幸いです。

＜夏休み中の主な行事についてお知らせ＞

7月	20日（土）トランペット鼓隊演奏（戎祭り）	8月	4日（日）三豊・観音寺小学生水泳大会
	22日（月）市内水泳記録会		10・11日（土日）県小学生水泳競技大会
			25日（日）ラジオ体操会・PTA奉仕作業